



予算・決算特別委員長



嶋崎 秀彦

予算・決算特別委員会報告

第3回区議会定例会において、予算・決算特別委員会が設置され私が委員長に指名されました。当委員会は、まず補正予算審査を行い「高校生までを対象とするインフルエンザ予防接種費用の全額補助」や「障害者福祉センターの補修工事」について可決すべきものと決定しました。特に予防接種の全額補助については3月の予算議会において全会一致の附帯決議をつけて議会が執行機関に要求したものであり、議会の努力が実を結んだものであります。

その後、平成27年度決算審査を行った結果、千代田会館10階改修工事については、その目的が不明確であり、工事価格の積算根拠につ

いて妥当性を欠いている。また、かがやきプラザの和紙アートについては、財産調書記載漏れや、取得金額の妥当性及び執行機関の意思決定過程が不明確であることが判明しました。

2件とも予算の適正な執行に重大な疑義が生じたため、地方自治法の規定に基づき監査委員に監査請求を行うことを決定しました。監査結果等を見たうえで、決算認定を判断しますので大変残念ですが継続審査となりました。当委員会としては区政の疑念を払拭せずに決算の認定はできませんので、今後も区政運営の執行をしっかりとチェックし、第4回区議会定例会において最終的に結論を出してまいります。

TOPICS 1 二番町に新しい特別養護老人ホームを。平成31年度の開設を目指します。

国は介護を理由とする離職者の増加が社会問題化する状況の中で「介護離職ゼロ」対策として国有地を積極活用し、地方自治体に介護施設整備を求めています。千代田区に対しては、二番町の「旧国家公務員宿舎跡」の情報提供があり協議の結果、当該地に特養ホーム建設の運びになりました。これにより要介護4～5(現在96名)で入所希望の方々の待機は解消されます。

新施設内容(約6,000㎡)
特別養護老人ホーム:100人程度
認知症グループホーム:18人程度
ショートステイ:特養ホームの1割程度

8階		共用部
7階		ショートステイ
6階	認知症高齢者グループホーム	認知症高齢者グループホーム
5階	特別養護老人ホーム	特別養護老人ホーム
4階	特別養護老人ホーム	特別養護老人ホーム
3階	特別養護老人ホーム	特別養護老人ホーム
2階	特別養護老人ホーム	特別養護老人ホーム
1階	共用部	特別養護老人ホーム

(イメージ図)

TOPICS 2 インフルエンザ予防接種の無料化実現へ!



23区初の
取り組み

千代田区ではかねてから子どもの予防接種や医療費の無料化など23区の中でも早い段階から先進的な取り組みを行ってきました。今回は更なる要望に応え0歳から18歳(高校3年生)までのインフルエンザ予防接種を本年10月から無料にすることになりました。

これは23区でも初めての取り組みであり、私たち議会の要望に区が応えて実現したものです。

あなたの声をお聞かせください!

千代田区自由民主党議員団 ●お電話で 03-5211-4320 ●FAXで 03-5275-6882

千代田区政と千代田区民をつなぐ[VOICE] 2016年秋号(年4回発行) 千代田区自由民主党議員団 活動レポート
発行:千代田区議会 自由民主党議員団 〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1(千代田区役所7F)



自民党議員団は 千代田の皆さまとともに全力疾走!

千代田区民体育大会にて



第54回千代田区民
体育大会
ふれあいスポーツフェスタ



代表質問

松本佳子



平成27年度 決算審査について

Q 第1回定例会にて、区長が説明責任を果たしていないことを指摘した。決算審査に際し、どう受け止めたのか。

A 議会と共通認識を持ち、住民等の意向を踏まえて区政課題に取り組むことが重要。適時適切な説明が充分でなかったとの指摘を真摯に受け止め、課題解決に向けた予算編成に努める。

校外学習や宿泊行事について

Q ①今後の宿泊行事の実施方針は②唯一の区有宿泊施設である軽井沢少年自然の家を存続したうえで、どう活用するのか。

A ①子どもを成長させる貴重な機会である。実施場所や時期・活動内容の改善を継続していく。②より良い宿泊行事を実施するため、学校行事では使用しないこととした。それ以外の用途については、地元の都市計画による用途制限等の課題を踏まえ検討を進める。

お茶の水小学校・幼稚園の 整備について

Q 改築に向けた検討をどう進めるのか。学校関係者や地域等の理解を得て、円滑に進めるための取り組みは。

A 現在地での校舍建て替えが基本。仮校舎の確保や通学距離等の課題、改築の日程を示し、関係者間で共通認識を持つ。

一般質問

桜井ただし



住宅、駐車場の付置義務 に代わる新たなまちづくり の制度を考えてみては!

Q 住宅付置義務と開発協力金制度は無秩序な業務化を防ぎ、定住人口の回復に向けて作られた。一時、4万人を下回っていた人口も都心回帰の流れと相まって目標としていた5万人を回復し、現在では6万人にまでになっている。

目標を達成した今、歩いて楽しい賑わいや、回遊できる街並みをつくる制度に変えるべき。インセンティブを付けることで建物の1階に商業施設等を誘導し活気に溢れた街並みを形成してはどうか。

また、駐車場付置義務から、1階部分は入口と駐車場で変化のない画一的な街並みが続いている。駐車場を広く面で考え大手町のように数カ所にまとめることで街並み形成に寄与することができるのではないかと。

A 地域の方々が商業施設の誘導など課題を共有し、どのような街の将来像を描けるか区としても、その取り組みに側面から支援する。

必要な駐車場を集約・設置することは、良好な街並みの形成だけでなく、歩行者の安全性の確保からも有効で現行の駐車場付置制度を見直す必要性も感じており、議論をしていく。

地域全体での検討組織を立ち上げ、今年度末に施設整備計画を策定、来年度は基本設計に着手する予定。

上記3問の他、次の2問も質問しました。
「経験のない風水害にどのような災害対策をするか」
「待機児童ゼロ対策について長期的な計画を考慮するのか」

永田壮一



生涯スポーツ推進に ついて

Q スポーツの語源は「気晴らし・楽しみ」である。年齢・技術を問わず誰でも運動に生涯取り組める環境作りが必要だ。区体育協会加盟団体にない競技の普及のため民間を含め幅広く協力関係を構築すべき。学校では部活を辞めた生徒を把握し種目変更、家庭環境など相談体制強化を求める。

A スポーツには精神の健全育成、予防医療、コミュニティの創出効果がある。学校開放など気軽に生涯スポーツに取り組める環境作りを推進する。

柔道普及について

Q リオ五輪では好結果を残したが柔道事故の影響が人気低迷している。重大事故は指導方法で防止可能だ。本区中学校には柔道部がないので希望があれば対応すること。小学校のマット運動に受け身を取り入れること。日本武道館がある本区として幼少期からの柔道普及を推進を求める。

A 柔道部設立の要望があれば高段者の派遣等で対応できる。受け身の効果は理解するのでマット運動で指導可能か研究をする。柔道普及は他の種目同様に推進する。

大坂隆洋



コミュニティサイクルの 今後と放置自転車対策

Q ①「ちよくる」は今後どのように展開していくのか。②秋葉原地域での放置自転車対策は一定の効果が出たが、区内全域では歩道や公開空地など依然として放置自転車が多く、歩行者にとって危険である。その対策は?

A ①オリンピック・パラリンピックの開催に向けて自転車文化として普及を目指していく。②秋葉原では、官民連携のもと、駐輪場や案内看板の整備、指導員の配置に加え、コミュニティサイクルの促進により効果が上がっていると考え。今後、より効果的な施策を区内全域に広げていく。

神田川と日本橋川の 安全確保について

Q 新たな観光資源として水辺の利活用が促進され、周遊する遊覧船が増加しているが、水上バイクの往来も多い。川の安全性確保に向けた具体策は。

A 川幅の制約や河川内構造物もあり、水上での事故やトラブル防止などの対策を講じる必要がある。東京都や川沿いの近隣区と連携を図り、運行ルールやマナーづくりの検討を行うなど、安全対策の向上に努めていく。

